

立命館経済学 第33巻総目次(1984年度)

論 説

	号	頁	頁
我国の独占資本主義論・国家独占資本主義論に おける危機把握について(1)……田中宏道	1	1(1)―	17(17)
I B M社の組織変革(6)……坂本和一	1	18(18)―	59(59)
韓国の貿易と国際収支……岩田勝雄	1	60(60)―	92(92)
現代資本主義の労働制度(1)……三好正巳	2	1(161)―	31(191)
——国家独占資本主義の社会政策論のために——			
I B M社の組織変革(7)……坂本和一	2	32(192)―	93(253)
ミシシッピデルタにおける公民権 運動の展開と帰結(上)……藤岡惇			
——「フリーダムサマー」20周年によせて——			
発展途上国の開発政策と経済成長…本田豊	3	1(321)―	16(336)
「社会主義経済と国家」に かんする覚書(中の1)……芦田文夫			
——「経済的メカニズム」論とのかかわりで——			
ミシシッピデルタにおける 公民権運動の展開と帰結(下)……藤岡惇			
——「フリーダムサマー」20周年によせて——			
ケインズの資本主義経済観の 形成と展開(完)……松川周二			
——ケインズ経済学研究序説 I ——			
パーシェ式物価指数の寄与度・ 寄与率……関彌三郎			
現代資本主義の労働制度(2)……三好正巳	4	16(474)―	51(509)
——国家独占資本主義の社会政策論のために——			
I B M社の組織変革(8)……坂本和一	4	52(510)―	116(574)

資本輸出の諸問題について……………岩田勝雄	5… 1(613)— 23(635)
「社会主義経済と国家」に かんする覚書(中の2)……………芦田文夫	5… 24(636)— 76(688)
——「経済的メカニズム論」とのかかわりで——	
寄与度・寄与率の理論と応用……………関彌三郎	6… 3(759)— 45(801)
近代経済学における 日常性と科学性……………鈴木登	6… 46(802)— 73(829)
——その普遍性・客観性・実証性をめぐっての素描——	
Stagnation 仮説の検討……………甲賀光秀	6… 74(830)—107(863)
寡占部門の投資行動規制による 景気安定化について……………北野正一	6…108(864)—138(894)
ケインズ経済学の理論的發展……………松川周二	6…139(895)—172(928)
——その若干の予備的考察——	
構造変化と政策効果……………山田彌	6…173(929)—223(979)
——二つの計量モデルによるシミュレーション分析——	
途上国経済援助による世界 経済活性化の可能性について……………本田豊	6…224(980)—243(999)
日本における政府短期 証券市場の現状と展望……………河野快晴	6…244(1000)—267(1023)

研究

宇野弘蔵氏の恐慌論批判……………西原誠司	2…126(286)—153(313)
——その批判的諸潮流との関連で——	
交通経済学体系と 方法論上の問題点……………森田優己	4…117(575)—134(592)
貨幣・信用恐慌と中央銀行準備金…竹味能成	5… 77(689)— 90(702)

研究ノート

ソ連およびドイツ民主共和国にお ける経済地理学の現状について…杉野罔明	1… 93(93)—112(112)
--	----------------------

資料

- 日本資本主義確立期の
 資本家名簿(4) ……………後藤 靖 1…113(113)—155(155)
- 日本資本主義確立期の
 の資本家名簿(5) ……………後藤 靖 5…91(703)—141(753)

紹介

- 薫輔郎『孫治方の
 社会主義経済論を論ず』……………松野昭二 3…105(425)—136(456)

翻訳

- M. K. バンドマン著『圏域
 生産コムプレックス』……………杉野 圀 明 4…135(593)—153(611)

学位論文審査報告

- 戸木田嘉久『現代資本主義と労働者階級』…………… 1…156(156)—160(160)

共同研究室

- 昭和59年度第1回研究会「合理的期待仮説の
 実証的検討」……………川崎 誠 一 2…154(314)—159(319)
 ——西独ビジネス・サーベイを用いて——
- 昭和59年度第2回研究会
 「価値法則と独占価格の関連および
 社会の総需要の構造について」…小檜山 政 克 2…159(319)—160(320)
 ——小檜山政克『価値法則と独占価格』
 の第6, 7章を中心として——
- 昭和59年度第3回研究会
 「交通経済の基礎視角」……………森田 優 己 3…137(457)—137(457)
- 昭和59年度第4回研究会
 「拙著『イギリス石炭鉱業の史的分析』
 (草稿)の構成と主要論点」……………若林 洋 夫 3…137(457)—138(458)

昭和59年度第5回研究会「社会主義 における経済と政治」……………芦 田 文 夫	4…154(612)—154(612)
—「経済的メカニズム」論と 「政治的システム」論をてがかりに—	
昭和59年度第6回研究会「貨幣・ 信用恐慌と中央銀行準備金」……竹 味 能 成	4…154(612)—154(612)
「恐慌論の方法と原理論の 方法の関連について」……………西 原 誠 司	4…154(612)—154(612)
昭和59年度第7回研究会「ケインズ 経済学の理論的發展」……………松 川 周 二	4…154(612)—154(612)
昭和59年度第8回研究会 「1984年の北京・上海」……………松 野 昭 二	5…142(754)—142(754)
「国際間における 価値法則の修正について」……………杉 本 良 雄	5…142(754)—142(754)
昭和59年度第9回研究会「パーシェ 式物価指数の寄与度・寄与率」…関 彌三郎	5…142(754)—144(756)
本年度会員業績……………	6…268(1024)—271(1027)